

あさくち 市議会 だより

平成24年9月定例会

No. 15

平成24年11月1日発行

【主な目次】

- ・ 9月定例会を開催…………… P 2
- ・ 委員会の議案審査の概要…………… P 4
- ・ 委員会レポート…………… P 5
- ・ 議員9名が市政を問う…………… P 7



明王院(鴨方町六条院中)(浅口市教育委員会提供)

一般会計補正予算 総額4億1,115万円を可決

9月定例会を開催

9月定例会を9月4日から21日までの18日間の会期で開催しました。

初日には、市長の政務報告の後、閉会中に行われた委員会の審査経過の概要を各委員長が報告しました。また執行部から、条例議案4件、専決処分の承認1件、平成24年度補正予算案4件、平成23年度決算認定10件、報告1件の20件が上程されました。

2日目からの一般質問では、代表質問に2会派、個人質問に7人の議員が登壇し、市政をただしました。

4日目には専決処分1件を承認し、その他の議案は質疑の後、常任委員会に付託し、慎重に審査しました。なお、決算認定議案10件は閉会中の委員会で審査することとしました。

最終日には、委員会審査の概要と結果を各委員長が報告し、全ての議案を原案のとおり可決しました。また、陳情1件を採択し、関係機関に意見書を送付することとしました。

補正予算

○一般会計補正予算（歳出の主なもの）

補正後総額132億2,533万円（対前年比+1.4%）

	事業の内容	補正額
議会費	議員報酬の減額（平成24年7月～平成25年3月分を10%減額）	△641万円
総務費	東日本大震災被災地支援事業（職員10名を交代で浪江町仮庁舎へ派遣）	316万円
民生費	高齢者支え合いサポーター事業 （地域の元気な高齢者が、ひとり暮らし高齢者などの生活援助や見守り活動を行う事業）	167万円
農林水産業費	ため池・水路等整備事業	1,256万円
土木費	市道の新設改良・維持補修事業	5,350万円
	河川維持補修事業	2,070万円
	金光駅南北広場整備設計業務	1,462万円
教育費	公民館整備事業（金光公民館オイルタンク新設、寄島東公民館駐車場排水工工事）	469万円
	学校給食施設整備検討委員の報酬	50万円
諸支出金	ケーブルネットワーク金光の株式売却益をまちづくり基金積立金へ積み立てるもの	2億9,420万円

○特別会計・企業会計補正予算

	補正額	補正後総額
介護保険	453万円	35億4,320万円
畑地かんがい給水事業	700万円	1,500万円
水道事業	収益的支出	△5万円
	資本的支出	61万円
		2億 356万円

条例

●浅口市学校給食施設整備検討委員会条例の制定

【原案可決】

学校給食施設の整備計画について調査、検討する委員会を設置するためのもの。委員は学識経験者、議会代表者、幼稚園・小中学校PTA代表者など30名以内で構成されます。

●浅口市防災会議条例及び浅口市災害対策本部条例の一部改正

【原案可決】

災害対策基本法の改正により、防災会議の所掌事務の一部を変更、防災会議の構成委員の追加、定数の変更などを行うもの。

●浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

【原案可決】

新たに学校給食施設整備検討委員会委員の報酬額を規定するもの。報酬額は日額で会長6950円、委員6500円。

●浅口市公共下水道条例の一部改正

【原案可決】

下水道法施行令の改正により、特定事業所から排出される下水の水質規制の対象に新たな排除物質を追加するもの。

専決処分

●和解及び損害賠償額の決定

【承認】

公用車の関係する事故について、市が相手方に対し、保険から21万3000円を支払うもの。

報告

●長期継続契約の締結状況

【報告】

金光総合支所、税務課、放課後児童クラブのデジタル複合機リース4台、小学校の印刷機リース5台を平成29年まで契約するもの。

陳情

次の陳情を採択し、関係機関に意見書を送付しました。

●少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請

【採択】

【要旨】学校における諸問題に対応し、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、少人数学級の推進と義務教育費の国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを政府に求めるもの。

提出者 岡山県教職員組合笠岡浅口支部

決算認定

平成23年度決算の認定に関する10議案は、質疑のあと、各常任委員会に付託し、閉会中の継続審査事件としました。11月に行われる常任委員会会で慎重に審査し、12月定例会で採決を行います。議案及び審議の詳細は次号に掲載します。

議会用語解説

今回の議会だよりの中で記載のある議会の専門用語について解説します。

○専決処分

議会が決定すべき問題について急を要し、議会を招集する時間的余裕がないときなどに、市長が議会に代わって処分することをいいます。専決処分をした場合は、次の会議に報告し、議会の承認を求めなければなりません。

○請願・陳情

市政や公益に関する意見、要望を文書で議会に提出する制度。議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」といいます。提出された請願・陳情は議会運営委員会で取扱いを協議し、その後本会議で所管の委員会へ付託され、慎重に審査します。審査の結果、結論が出たものは本会議で議決を行い、採択されたものは、国会・政府関係機関に意見書を提出したり、必要に応じて市長に送付し、その実現を求めます。

○意見書

議会は、地方自治法の規定に基づき、公益に関することについて、国会や国の関係省庁などに対し、議会としての意思を意見としてまとめた文書を提出することができます。意見書の案は議員又は委員会が提出し、本会議でその可否を決めます。

委員会の議案審査の概要

条例案や予算案などの議案は常任委員会に付託し、慎重に審査しました。議案審査で行われた詳細説明、主な質疑、意見の概要は次のとおりです。

学校給食施設整備 検討委員会条例の制定

問 学校給食センターを新設する場合、稼働はいつを計画しているか。

答 現在のところ平成27年度までに完成したい。

問 検討委員会は何回ほど開催するのか。答申は、いつ誰に出すのか。

答 3回程度の開催を考慮しており、今年度中に市長あてに答申していただきたい。



安心・安全な学校給食を

特別職の職員で非常勤のものの報酬 及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 学校給食施設整備検討委員会の委員報酬の額は他の委員会と比較してどうか。

答 他の同様な委員会と同額です。

公共下水道条例の一部改正

問 今回排除物質として追加される「1、4－ジオキサン」とは。

答 写真フィルム製造や塩化樹脂の製造過程で一部出る有害物質で無色の液体です。今のところ本市に当該物質が出るような事業所はありませんが、法律の改正に伴い新たに追加するものです。

一般会計補正予算

●東日本大震災被災地支援事業（316万円）

〈詳細説明〉

東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県浪江町に職員10名を2週間程度、交代で派遣します。浪江町は現在大半が避難指示区域であり、隣接する二本松市に建設される仮庁舎で従事します。

問 派遣する職員はどのような職種を希望されているのか。適材適所の人材を派遣すべきと考えているか。

答 浪江町では職員の絶対数が不足しており、短期間でも助けになる職はありと考えています。

●河川維持補修事業（2070万円）

問 補正額がかなりの額になっているが、当初予算で計上できなかったのか。

答 当初予算の段階では、修繕箇所を予期できないものもあります。また、7月上旬の豪雨で緊急的に補修が必要となった箇所もあるためです。

●まちづくり基金積立金（2億9420万円）

〈詳細説明〉

市が保有する株式会社ケーブルネットワーク金光の全株式（5884株）を売却した収入を基金に積み立てるもの。

※市はケーブルテレビ事業の10年以上継続、市内全域に同時に同一番組、同一情報を放送することなどを条件に譲渡先を募集し、その結果、笠岡放送株式会社に譲渡されました。

常任委員会レポート

各委員会の開催状況、調査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

8月21日開催

○学校給食施設改修のため検討委員会を設置

老朽化が進んでいる学校給食センター及び学校給食調理場の改修については、市役所職員によるプロジェクトチームでの検討の結果、新たな給食センターを建設し、給食センター方式に統合する方針を出し、PTA役員等に説明会を開催したが、より幅広く意見を聞くため、PTA役員、有識者、議会代表者などを委員とした検討委員会を設置したいとの報告を受けました。

問 プロジェクトチームでの検討結果と検討委員会での答申が異なる場合はどうなるのか。今までの協議が無駄になるのではないか。

答 プロジェクトチームは内部組織であり、その結果や資料を参考とし、外部からの委員を含めた検討委員会で十分に協議していただき、その結果を尊重したい。

○いじめに対する取り組み

教育委員会では、市内小中学校からいじめや、暴力行為の発生状況について毎月報告を受けている。本年度は中学校から1件のいじめ発生の報告を受けている。教育委員会としては各小中学校に対し、いじめ問題の取り組みの徹底

を文書や校長会で指示を出しているとの報告を受けました。

問 学校から委員会へ発生状況を報告することになっているが、隠ぺい体質はないのか。

答 いじめ問題は学校全体で取り組み、教育委員会へ報告するよう指導している。全教職員を対象とした研修会でも説明し、徹底を図っています。

問 教育委員会が現場へ出向いての実態調査は行わないのか。

答 本年度から配置されているスクールポリス事業を活用したい。指導主事が学校に行く機会もあり努力したい。

9月13日開催

委員会付託された、条例案3件、補正予算案1件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

また、陳情1件を審査し、採択すべきものとし、意見書案を作成しました。

民生常任委員会

8月22日開催

○可燃ごみの収集回数を統一

可燃ごみの収集回数は現在、金光町域及び鴨方町域では週2回、寄島町域では週3回です

が、市内で統一するため、業者との契約が切れる平成25年7月から、寄島町域も週2回の収集とする予定との報告を受けました。

9月14日開催

委員会付託された、補正予算案2件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

8月20日開催

○金光駅周辺整備事業の現地視察を実施

金光駅南側の視察を行ったのち、執行部からJR等の関係機関とより具体的に協議を進めるため、詳細設計を行いたいと説明がありました。

問 駅南側整備の

事業費はどの程度を見込んでいるか。

答 約5億円を見込んでいます。

9月18日開催

委員会付託された、条例案1件、補正予算案3件について審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。



金光駅南側を視察

議会改革特別委員会

● 6月27日、8月20日、9月4日開催

○議会基本条例

平成24年12月制定、平成25年4月施行を決定

施行日までに次の5項目の運用方法を協議することとしました。

(1)議員問自由討議

本会議や委員会において議案を審議する際に、執行部への質疑や質問だけでなく、議員間の意見の相違や共通点を確認し、よりよい結論を導き出すため、議員相互が自由な立場で討議することです。今後、他市の例を調査し、実施方法を協議します。

(2)議会報告会

議会の説明責任を果たすため、議員自らが地域に向き、議会の活動状況や審議内容などを報告し、市民の皆様と情報、意見を交換する場を設けます。開催は年1回程度、旧町単位の3箇所を実施することなどを決定し、今後実施要領を作成することとしました。

(3)議案に対する賛否の公表

議員の議決責任の明確化、また審議過程を知っていただくために、議員の賛否の態度表明を公表します。先例市を例に、採決方法の見直

しや、棄権者の取り扱いについて今後協議します。

(4)一問一答方式及び反問権の導入

一般質問を市民の皆様にも分かりやすいなどのメリットがある一問一答方式で行います。また、市長や市職員が議員の質問、質疑に対して逆質問ができることとなります。反問権行使する場合、答弁の際に議長に反問権行使の意思を伝え、議長の許可を得てから発言するように求めることとしました。

(5)議案審査における資料請求

議案審議にあたり、議会の情報不足を解消するため、必要に応じて執行部に資料の提出を求めることを規定します。資料の要求方法についてのルールを施行までに協議します。

○議員政治倫理条例

議会基本条例との関連性から平成24年12月制定、平成25年4月施行に決定しました。

○市民アンケート

平成24年11月までに結果をまとめることとし、15問の調査票を作成しました。住民基本台帳から無作為抽出した20歳以上の市民2000人を対象に調査票を9月上旬に郵送し、回答を

依頼しました。

11月中には報告書をまとめ、ホームページ等で調査結果を公表することに決定しました。

○出席状況の公表

委員会、本会議などの出席状況を議会だより等で公表することに決定しました。県下他市では、現在のところ出席状況の公表は行われていません。

○委員会及び全員協議会の公開

委員から委員会及び全員協議会について、テレビ放映するなど公開すべきという意見が出され、取扱いを協議しました。

全員協議会については現在非公式の会議ですが、会議規則に規定し、公式な会議として傍聴を許可するなど公開するべきとの意見と、意見調整の場という性質上公開にそぐわないとの意見がありました。

また、全員協議会は執行部から報告を受ける場でもあり、執行部からも意見を聴取することになりました。

一般質問

会派代表者2名が
議員7名が

市政を問う！

9月定例会では9名の議員が一般質問を行いました。

なお、一般質問の記事は質問した議員が作成した原稿に基づき掲載しています。



浅政会 田口 桂一郎議員

学校でのいじめ対策は

問 いじめは見つけにくいものです。見落としはないか、教育委員会や学校の視点だけで捉えていないか、丁寧で繰り返し調査を要望します。

答 城山教育長

最近3年間は、国や県の調査に合わせて綿密に組織的に調査しているので、大きな見落としはないと思っています。調査に現れる表面だけでなく、陰に隠れた状況を察知しなければならず、今後ともそういう方向で指導に当たりたい。教育委員会等のいじめに対する正しい認識は、またどのような指導や研修を行っていきま

答 城山教育長

教育委員会や学校の認識は進んでいると信じているが、今まで実施してきた指導主事の学校訪問による指導、校長会での話し合い等を継続し、適応指導教室等の機能を活用したい。今年度から警察OBのスクールポリスが学校での指

導等に当たっており、現在のところ大きな授業妨害やいじめは発生していません。

問 いじめが起こった場合、保護者や生徒に伝える方法は。

答 城山教育長

アンケート等で事実を早急に把握し、当人や保護者の気持ちを十分に受け取り学校全体として対応し、関係機関との連携をとることが大切です。一方、個人情報への取扱いに注意することもあります。

学校の耐震化の早期完了を

問 いつまでに耐震化工事を終える予定なのか。早く対応していただきたい。

答 城山教育長

24、25年度で鴨方中、金光吉備小、鴨方東小、26年度に金光中、鴨方西小、鴨方西幼、六条院幼、27年度に鴨方西小の2年目の工事となり、27年度に全ての工事が終了予定です。少しでも早く終わるよう努力したい。

土曜日授業を研究しては

問 昨年9月の代表質問では、現段階での修正は困難だと答弁された。今年6月に岡山県教育長

は、土曜日授業の実施を市町村に研究するよう呼びかけていると明らかにした。学力テストの成績悪化が深刻とも言われ、学力向上にも努めなければならないが、教育委員会はどうか答えたのか。

答 城山教育長

特別な場合は臨時に土曜日授業を行うことは可能だが、制度として恒久的に実施することは現在のところ無理です。県下15市の教育長会では、無理であるという意見がほとんどで、積極的に今後進めるという話はありませんでした。

公立高校の入試学区の統一を

問 本市では、旧金光町が倉敷学区、旧鴨方町と

寄島町は西備学区です。同じ市内でありながら金光の生徒は倉敷や玉島、鴨方と寄島の生徒は笠岡や井原の高校に通うことになる。市内の生徒が同じ条件で教育を受けられるよう働きかけるつもりはないか。

答 城山教育長

機会あるごとに県への働きかけ等を行い、話題に上げていきたい。

国際交流事業の削減について

問 ティーツリーガー市に毎年中学生を派遣しているが、今年はカンガルー島訪問が削減された。すばらしい自然を見せてやりたいと思わ

いか。経費削減や行政改革は必要だが、順番を間違えてはいないか。

答 城山教育長

豪州の生活を実感し人間関係を温めることを目的とした研修であり、ホームステイが一日でも増加するよう計画したが、御指摘の点を十分考慮し来年度の計画を立てたい。



清風会 井上邦男議員

鴨方駅自由通路に広告を

問 清風会を代表いたしましたして2点お伺いいたします。

鴨方駅の自由通路に、収入確保のために広く広告を求めたらどうですか。

答 松田産業建設部長

現在この鴨方駅の自由通路の中にポスターなどが掲示できる場所を2カ所設けております。ここには市からの情報発信といたしましていろ

いろの情報をしてみたりしました。御提案にありました企業の有料広告が出せるような方法も含めまして場所、それから制度等を考えてみたいと思います。



鴨方駅自由通路

学校給食センターの建設は

問 学校給食センターの建設について質問します。

答 谷本教育次長

学校給食は、国が定めた学校衛生管理基準に基づいて実施することが求められています。鴨方中学校の施設を含め、全ての施設でこの基準に適合しているとは言えないのが状況でございます。しかし施設として厳しい状況にあっても、そこにいる栄養士、調理員などは基準に沿うよう最大限の注意を払い、安心して衛生的で調理を行っております。現在の施設を適合するよう改修するには、多額の費用、試算で30億円という経費がかかります。合併特例債を使った場合、事業費に補助金を差し引いた残りの95%に特例債が充当され、償還金の元利息を含めた

70%が交付税の対象の措置となります。このためかなり安く建設することができ、市の財政負担を軽減できるものと考えます。つまり経費の大部分を国のお金で賄うことになります。今後は、学校給食施設の整備につきましては、外部の検討委員会の設置も予定しており、委員の皆様にもさらに幅広く検討していただくように考えております。

問 給食に対してはいろいろの問題もあると思いますが、給食費を納めていない方もおるよう聞いていますがどのくらいいるのかわかりませんがこの給食センターができたときから、思い切って給食費を無料にしたかどうか、全国で見ますと、8市町村で実施されております。中には、給食費を無料化したために子供さんの出生率が伸びたという市もあります。兵庫県相生市では、給食費無料化で手厚い子育て支援をしています。又山口県のと木町は戦後からずっと給食費は無料だそうです。東京の江戸川区では3分の1を補助しています。そのために出生率が1・0が1・26と伸びたということもあります。又施設の中に、放射性物質の検査をする機械を導入してはどうですか。

答 谷本教育次長

放射線の物質の検査をする機械の導入でございますが、確かに必要かと思えます。設置する場合関係機関とどのようにすればいいのかよく研究してまいりたいと思えます。



香取 良勝議員

市長の公約である市営墓地を 至急設置して頂きたい

問

公営墓地は市民の悲痛の願いであります、若い栗山市長の力を発揮して頂きたいと、平成22年6月議会で質問をしました。2年経っても未だ何の声も聞こえてこないが、公営墓地について何処まで進んでいるか説明を求めるとい質問書を提出しました。前市長は公約をしたにも

関らずしなかったが、栗山市長も同じかと2年前に質問した。栗山市長は「今はもう変わりました、期待して頂きたい。」と答弁をされたわけです。430世帯が高齢の為に十数年以内に購入したいが8割、整備可能地域を選定、栗山市長の任期中に設置し、市民に市営墓地を使用していただけるよう整備してまいりますと答弁されたが、今現在の心境をお聞かせ頂きたい。

答

原田生活環境部長

本市としては必要性は十二分に認識をしております。出来るだけ市営墓地を早急に建設したいと考えていますが、やはり地元の同意が得られやすい候補地の選定を行っているところです。

答

栗山市長

プロジェクトチームは特別に作っていませんが、再三関係部署で今話をしている途中であり、地元の住民の同意を得る必要があり慎重に対応しながら、候補地の最終的な絞込みを行っているところです。具体的な候補地の説明は控えさせて頂きたいと思います。また声が聞こえてこないとの事ですが、聞こえてくるまでもう少し待っていて下さい。墓地と言う特殊性から整備において困難な面もありますが、浅口市民が暮らせる故郷であり、非常に必要であり、早期実現に向け全力で取り組んでいきたいと考えております。

衛生基準に基づいた給食センター 新設設置を至急望む

問

今現在使用している給食センターは耐用年数が（古く）過ぎており国が定めた衛生管理基準に適合していない施設を今使用しているので、今のままでは到底、子供の給食センターとは言い難い。今給食センターを建設すれば、合併特例債が国から受けられ、特例債の70%が交付税措置される。その特例債があるときに浅口市の未来を背負う小、中学生に楽しく美味しく地産地消で食べられる給食を提供する為にも施設を早急に建設して頂きたい。市として今の給食センターを新築する予定について説明を求める。

答

栗山市長

施設を改修する期間中も給食を停止する事が出来ない事、現在の6ヶ所の施設をそのまま整備する場合は多額の（新設をした場合は半分の経費でできる）経費がかかり、市の財政負担を極力少なく合併特例債や補助金を活用するなど検討問題でございます。今の施設が30年経っている為、老朽化が進んでおり、国の定めた衛生管理基準に適合しているとは言えない状況であり、早急に新設が求められているのも事実です。平成27年より早く作れと言われましたけれども検討委員会の方向性が出れば早急に、議会の皆様ともご相談しながら進めていきたいと思っております。



佐藤 正人議員

皆で考える防災対策は！

問 災害時をイメージし住民主体のワークショップとしてDIG（災害図上訓練）およびHUG（避難所運営ゲーム）を取り入れてはどうか。

（用語解説）

DIG、HUGとは、以下の単語の頭文字をとったもの

- | | |
|-------------------|---------|
| （DIG） | （HUG） |
| ・Disaster……災害 | ・H……避難所 |
| ・Imagination……想像力 | ・U……運営 |
| ・Game……ゲーム | ・G……ゲーム |

答 榎田企画財政部長

実践的で有効な方法と考えます。自主防災組織の設立支援を進めていく上で環境づくりを進めていきたい。

答 栗山市長

防災対策は公的機関はもとより、市民の皆で考えることが重要。地域でのリーダーの育成に努めながら、進めていきたい。

AEDの拡充対策は！

問

いつ起こるかわからない緊急事態に備えてコンビニにもAED（自動体外除細動器）の設置を働きかけてはどうか。また、講習会の更なる充実を図っていく考えは。

答 榎田企画財政部長

コンビニへの設置については、今後消防署等と連携し優先順位を検討していきたい。講習会の啓発は、開催情報を広報紙等でPRしていきます。

子どもホームページの開設を！

問

本市のホームページから、子育て支援・教育関係・投稿コーナーなどを独立させ、情報を一元化させた子どもホームページを開設してはどうか。

答 襟立健康福祉部長

子育て支援に関する情報は、様々な方法で

発信しているが、ホームページの中の情報提供についても本市にあった形態を考えていきたい。

答 栗山市長

今年度、本市のホームページをリニューアルしていく上で、子育て王国浅口の一環としてぜひ取り組んでいきたい。



子どもホームページ（山口市長門市）



桑野 和夫議員

いじめ問題

子どもの中に解決の力がある

問

いじめの確認件数が少ないが、いじめがないとか少ないのが評価される面があります。現時点でいじめはあるもの、起きるものと考えた方がよい。その上でいじめを見つけることが評価され、自殺など最悪なことになる前に解決することが大事です。いじめ問題に向き合い、先生と子ども達が問題解決能力を高めていくことが大切。多くの先生がいじめのないクラス、学校を求めながらも、学校と先生が時間と心のゆと

りを失いつつあります。この状態の改善も必要ではないでしょうか。

答

城山教育長

いじめを正確に素早く見つけて対応をしつかりやるのが解決を図る上で大切です。子どもと先生が温かい関係で指導できるようにすることなども含め努力していきます。先生が忙し過ぎるのも事実ですが、教職員の数にも限度があります。一生懸命考えていきます。

食物についての教育は

どうなるのか

問

検討委員会での議論は、市の方針を押しつけるのではなく自由活発な議論を保証してほしい。市内一つのセンターにしてまとめて4000食つくることにへい害はないのか、食物についての教育がないがしろにされないか、地産地消ができなくなるのではないか。また食の安全や職員の雇用の問題で民間委託は絶対にしてはならないと思いますがどうですか。

答

城山教育長

市の方針を押しつけることはしません。老朽化している現施設の改修に非常に経費がかかること、合併特例債が使えることなど様々な問題を総合的に考えて、現在のところセンター化の方向に向かっています。民間委託は今後の問題だと思っています。

非正規職員の多さ、官製ワーキングプア、人事異動の年数の短さ、問題では

問

市職員で正規職員が266人で非正規職員が268人。正規より非正規が多い。雇用は正規が当たり前という点で問題はないのか。非正規職員（一般職非常勤職員）の平均年収が250万円。一般的に年収200万円以下の人をワーキングプア、働く貧困層といい、こうした低賃金で働かせることが社会問題になりました。市役所内で官製ワーキングプアに近い職員が相当数存在することは問題ではないか。人事異動は短期間でかわり過ぎではないか、職員も負担になり住民サービスで影響がでるがどうか。

答

栗山市長

正規職員と非正規職員、それぞれの仕事内容に適した任用制度を活用しています。賃金は仕事の内容で変わり、他市と比べて特別に低くはありません。異動は、ただ単に年数や期間だけで物事ははかれなくて、いろんなケースが考えられます。これからも職員一人一人の能力が十分に発揮できるよう適材適所でやっていきます。



大西 恒夫議員

アッケシソウの栽培普及を 採種の許可を

問

浅口市のアッケシソウは本州で唯一自生しているものであり、市の天然記念物として寄島干拓地の西堤防内側が指定されています。アッケシソウ自体は規制を受けていません。

自生地としては全国に誇れるもので、ボランティアの皆さんのおかげでだんだん広がって参りました。今年も10月6日から25日までアッケ

答

栗山市長

シソウ祭りをします。11月には、枯れて大量の種が出来ます。種が落ちて3月ごろには、野菜の種を蒔きすぎた時のように大量の芽が出て、自生する必要量の数十倍から100倍の種が出来ます。市として種の採種を許可し、浅口市から観葉や食用として、また希少植物の育成のため種を世間に出してはいかがでしょうか。栽培は、ポットやプランターはもちろんですが畑での栽培も出来ます。私の経験では海水は、他の植物が生えないための除草剤になっているように思えます。成長は水で十分です。種を蒔く時期は、4〜5月が最適です。市長の考えを伺います。

浅口市のアッケシソウは本州で唯一自生しているものであり、市の天然記念物に指定しています。今年度、岡山理科大学、星野教授に育成調査の研究を行っていただいています。自生地としての今後の保護活動に生かされるものと考えています。浅口市が誇る極めて重要な地域資源であり、今後も市を挙げて自生地の保護育成に取り組んでいくべきものと考えています。

提案については、浅口市のアッケシソウを全国に広く知っていただくといった視点からだと思います。市としては、アッケシソウを守る会、そして教育委員会と十分に相談していききたいと考えています。



アッケシソウの栽培



道廣 裕子議員

旧総合福祉センターの今後は

問

旧寄島町総合福祉センターは今後どのようにしようとお考えなのか。早急な対応をお願いしたい。

答

榊田企画財政部長

市では自主財源の確保を図るために未利用財産について、順次効率的な利活用のために処分を進めてきたところです。

この跡地については、隣地との境界確認、分筆登記等を実施して、処分する方向で準備をすすめておりましたが、昨春秋、建物の高圧受電設備内にPCB混入のトランスが見つかったため、調査し、撤去の上、密封保管いたしました。

今後は、土地建物の売却処分に向けて不動産鑑定等を進めていく予定です。

ふるさと創生事業で一億円の半分を投じて創設した寄島園地について

問

観光園地として当初は瀬戸大橋が見える、日の出がきれい、さらに頂上からの360度のパノラマが最高といわれて創設されました。

ところが大変な坂道の上下り下りがあり、民地もきれいに耕作しなくてはなりません。草刈をしても年間60万円以上かかります。そこで「軽トラ」でも上れるようにしてほしいという地元の方々の思いがあります。

現在、園地は尾根が境で南側が国立公園に指定されており、東の展望台も修理をされました。しかし、西は木が大きくなり休憩所は木のふんでよごれています。展望も木の間かくれで、木を切るのも簡単には切れない状況です。

また島の北側の中腹所に遊具が設置されていますが、三ツ山公園が整備され、子どもをつれて上らないのが現状で荒れ放題になっています。また、途中の道が崩れており、危険です。早急に修理して、整備していただきたい。海のある美しいまちとしての計画を立ててほしい。

答

栗山市長

寄島園地の南側は瀬戸内海国立公園の特別地域に入っているため、各種の規制等があり、現在車道はありません。北側は傾斜が非常に急勾配であり、地形的な危険性を考慮しても、車道の整備は困難と考えます。

東西の展望に木が生い茂っております。国立公園のため、環境省の許可が必要であり、民地についても伐採は困難であり、枝打ちのお願い等を研究してみたい。

遊具は壊れているところは直しております。遊歩道の危険箇所は早急に直したい。

最後に園地への上り口にある標識が見つけないかったのも、もつとわかりやすくするように指示しました。

寄島園地は市内有数の風光明媚な場所であり、トレッキング、ウォーキングコースのひとつに位置づけました。適切な管理をしながら寄島園地の本来の役割、アツケシソウを見にいられた方々にも来ていただけるよう整備していきたい。



寄島園地の整備を



伊澤 誠議員

浅口市の一体的な都市計画の策定について

岡山県南広域都市計画区域の区域区分（いわゆる線引き）された金光、区域区分されていない（非線引き）鴨方、都市計画区域外の寄島と、異なる一体性のない土地利用規制を持っている浅口市の現状ですが、岡山県マスタープランにも『鴨方都市計画区域と旧金光町域が、一体的な土地利用の実現が図られる場合には、新たな都市計画区域として再編することを検討する』と、その位置づけが明記されています。

浅口市において昨年度、区域区分・地域区分の変更業務を委託した、浅口市の土地利用の現状調査と、これに基づく用途地域の設定作業は、何をいつまでに結論を出される予定ですか。

答 松田産業建設部長

金光、鴨方の地域の土地・建物の状況調査を行い、地域の実情に即した一体性のある都市計画の素案を作成するもので、現地での調査は概ね終了しています。今年度末を目標に都市計画の素案作りを行っています。

問 金光町地域と鴨方町地域の一体化について、どのような方向に向けて取り組まれていますか。

答
松田産業建設部長

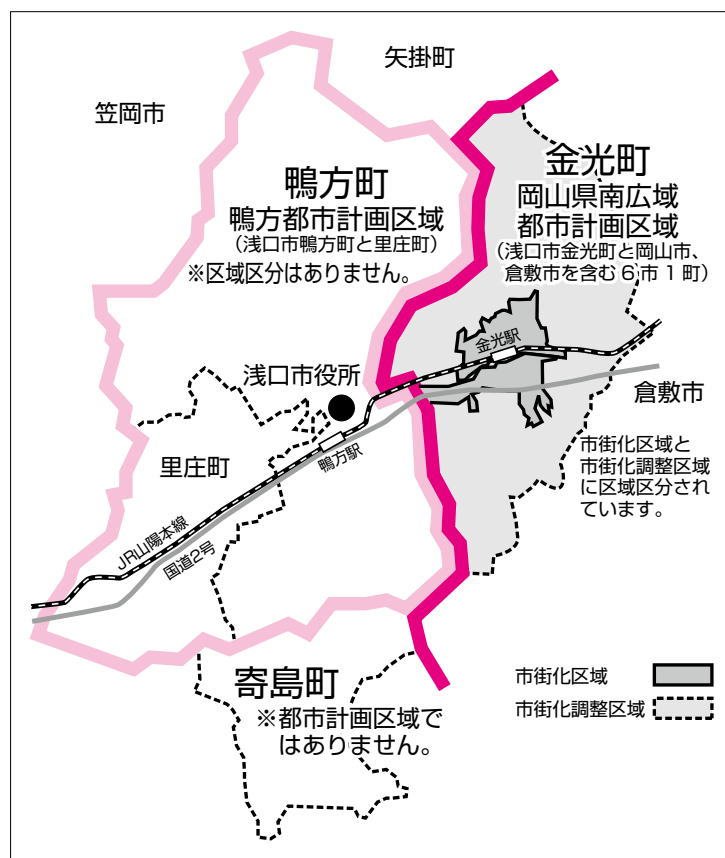
浅口市マスタープランを参考に用途地域や特定用途制限地域の指定を検討していきます。

問

「今回の都市計画の見直し時には、見直し再編が実現されるのでしょうか。」

答
田村副市長

現在は県や里庄町と事務レベルでの協議を行っておりま
す。今後は国との協議、また
議会をはじめ市民の皆様への
説明を行いながら、都市計画
案を作って行きたいと思つて



都市計画概略図

います。新しい都市計画案の作成には相当な期間が見込まれるので、区域再編時期については明確にお答えすることができません。

答
栗山市長

浅口市とそれに隣接する里庄町が一体となる都市計画案を検討していきたいと思っています。



岡邊 正継議員

金光駅周辺整備の概要と財源は

問

金光駅周辺の整備について1462万7000円を測量設計委託料として計上されていますが、どこが対象ですか。工事費は幾らか、その財源等もお知らせ願いたい。

答

松田産業建設部長

金光駅周辺整備は、北と南を含めて対象となります。南側は車が回れるロータリーなどの乗降場、タクシー乗り場や駐輪場などの広場の整備が主な対象です。

事業費は、概算で用地も含めトータルで6億円、南側が5億円と思っています。財源は合併特例債を最大限活用していきたい。

問

工事費が5億円だと起債額4億7500万

円、一般財源の持ち出しが2500万円と理解すればよいですか。

補正予算案に測量設計委託料とあるが、委員会では詳細設計という言葉を使われた。一般競争入札でこの予算額は、上限で業者に発表することになる。下限がない方法と思いますがどうですか。

起債は当然お金を返すことになる。償還の方法を教えてほしい。

答

松田産業建設部長

詳細設計は測量設計委託の中の一つの分類です。今回の金光駅周辺整備は、概略の設計が一応できて青写真の真実のものがあり、それをもとに話を進めたが、より詳しい話をするため、詳細設計をします。

1462万7000円を計上していますが、これは統一的な考え方によってつくっています。それをもとに入札を行って、業者が応札をして額が決まります。測量設計委託は工事と違い、下限はないと聞いています。

答

榎田企画財政部長

特例債は、対象経費の95%が充当できます。あと70%が交付税措置されますが、借金をして2年据え置きで、10年で償還するのが通常です。利子も合わせて償還します。

今後の交付税交付の状況は

問

公債発行特例法案が成立せず廃案になりました

た。9月分は満額支給されているようだが、今度11月に交付税交付がなされます。全体像はどうなっていますか。9月の交付税は金額が幾らでしたか。

答

榎田企画財政部長

国では現在赤字国債の発行に必要な特例公債法案が成立しない状況下で、予算執行を抑制する方針がなされました。

9月の交付税ですが、全体で約4兆円の交付税も支給延期の対象とされたと報道され、非常に危惧していました。そうした中、市町村分の1・9兆円は交付が決定され、市へは9月に12億5800万円が入りましたので、当面は財源確保がなされたと認識しています。11月の見通しは、はっきりと申し上げられないが、早くその法案が成立していただきたいという気持ちです。

問

この資金が不足すれば当然一時借入金ということにもなります。制度機能が麻痺したら皆さん困ります。資金が不足したらどういう措置をとるのですか。

答

榎田企画財政部長

考えたくないですが、借り入れする方法、市の蓄えを充てるという方法もあります。そういう緊急事態になったら、国の指導もあるので、市長と十分相談し、市民生活に影響がないよう精一杯努力をしたい。

第229回

岡山市議会

議長会総会を開催

10月17日(水)浅口市健康福祉センターで
県下15市の議長、副議長が出席する、岡山県
市議会議長会総会を開催しました。

意見書4件を採択し、そのうち「地域公共
交通の確保・維持に対する支援策の拡充につ
いて」ほか1件を国への陳情事項として、中
国市議会議長会へ提案することを決定しま
した。



傍聴へお越しください！

傍聴は議会活動に触れる最も身近な方法です。

議員の活動や市政の方針など、ぜひご覧ください。

会議当日の受付で傍聴できますので、市役所3階の議会事務局までお越しください。

次回12月定例会は12月4日から20日までの会期で開催予定です。(日程の詳細は議会運営委員会で決定されます。事務局にお問い合わせいただくか、ホームページ等でご確認ください。)

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**浅口はるか**会のご協力により議会だよりを音訳しています。

表紙写真

今回の表紙は平成23年度あさくちいとこ写真コンテストで入賞した小山憲雄さんの作品「燃える秋」です。鴨方町六条院中にある明王院は、伝教大師最澄が入唐の際、立ち寄って開いた天台宗のお寺です。また、平家滅亡と運命を共にした安徳天皇の御在所「穴泉の御所」が設けられ、しばらく滞在したといわれています。境内の客殿や多宝塔に真っ赤な紅葉に染まった庭園が見事にマッチしています。これから紅葉シーズンを迎えます。皆さんも美しい秋の風景をご堪能ください。

広報特別委員会

委員長 平田 襄二
副委員長 伊澤 誠
委員 佐藤 正人
原 彰
柚木 毅

桑野 和夫
中西 美治
道廣 裕子

贈らない！ 求めない！ 受け取らない！ 寄附行為等の禁止について

公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄附行為等を行うことは禁止されています。

このため、市議会議員はお中元・お歳暮を贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことは出来ません。また、選挙区内に年賀状を出すことも禁止されています。

また、市民から市議会議員に対して、寄附を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。

皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

アンケート調査にご協力 ありがとうございました

9月に2000人の皆様を対象とした市議会に関するアンケートを実施し、963名からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。なお、調査票の集計がまとまり次第、結果をホームページで公表します。また、次号の議会だよりにも結果を掲載いたします。



議会だよりは再生紙を使用しています